

北上消防広報 FIRE SERVICE ACTIVITY ふれあい119



No. 47
2024
春号

雪

あかり
2024 in にしわが

笑顔のために これからも

50
Anniversary
KITAKAMI FIRE DEPT.

火の用心

上記の写真は、2月10日、西和賀町で開催された、「雪あかり2024 in にしわが」に向けて西和賀消防署の職員が制作した雪像です。
今年、昭和49年に発足した北上地区消防組合が50周年を迎える記念すべき年となります。雪像は50周年を祝い、救急車の雪像に加え、50周年記念ロゴマークにもキャンドルを灯し幻想的な世界を演出しました。
北上地区消防組合は、これからも住民の笑顔と安心安全を守り続けます。

(消防本部玄関に掲げられた50周年記念看板)



令和 消防統計

救急出動は過去最高件数更新



火災

火災33件 前年より3件増加
原因の第1位は「たき火などの屋外焼却」

種別	件数	原因上位	件数
建物火災	17件	たき火などの屋外焼却	7件
林野火災	1件	溶断・溶接の火花	3件
車両火災	3件	暖房器具(薪ストーブ)	3件
その他の火災	12件	電気器具等	3件
		放火の疑い	3件

⑥

原因の第1位は、たき火などの屋外焼却からの延焼です。
「今まで大丈夫だった」と甘く考え、ちょっと目を離したことから発生しています。また、火災による死者は2名です。就寝中の逃げ遅れを防止するために、**住宅用火災警報器**を設置し、維持管理に努めましょう！

救急

救急出動件数 4,442件

(前年比369件増)



＜令和5年の救急出動＞

救急出動件数は、前年より369件増加し、そのうち233件が7月及び8月に増加しました。また、搬送された3,900人のうち約半数1,901人が入院を必要としない軽症でした。

＜救急車の適正利用のお願い＞

救急出動の増加に伴い、救急車が現場に到着するまでに要する時間も年々伸びてきており、一刻を争う事態が発生したとき、救急隊の到着が遅れてしまうおそれがあります。緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関等を利用しての受診をお願いします。

令和6年度 当初予算概要

令和6年度当初予算が2月の組合会定例会で可決されました。予算総額は、21億3,229万3千円で、前年度当初に比べて2億4,779万3千円の増となります。
令和6年度予算の主な歳入は、北上市及び西和賀町の構成市町分担金及び負担金が16億7,356万9千円、組合債が4億3,180万9千円などとなっています。
歳出は消防費の19億4,293万9千円が主なものであり、内訳として、職員人件費が12億3,147万8千円、消防施設費が5億1,069万8千円などとなっています。

⑥

【収入】	(単位:千円)	【支出】	(単位:千円)
会費金及び負担金	1,673,560	組合費	1,930
使用料及び手数料	1,700	総務費	3,520
雑収入	7,000	消防費	1,942,930
雑収入	18,232	公債費	181,313
組合債	431,860	予備費	3,000
財政収入	1	歳出合計	2,132,293
収入合計	2,132,293		

～ 訓練トピックス ～ 訓練の一端を紹介しませう

電柱上の事故を想定した合同訓練を実施

令和5年12月20日、東北電力ネットワーク株式会社と北上地区消防組合が合同で、電柱上の事故を想定した救助訓練を実施しました。

当日は同社の職員から電柱に登る方法や電柱の強度などの説明を受けた後に合同で救助訓練を行い、実災害に活かせる大変有意義な訓練となりました。

今後も、救助技術の向上を図るとともに、関係機関との連携強化に努めてまいります。



ホームページ フェイスブック



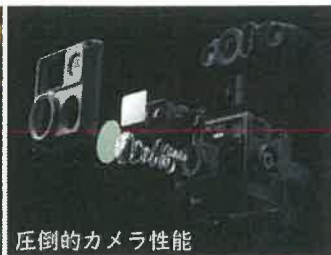


当組合では、2機目のドローン(MATRICE30)を導入しました。現在、技能講習を受けた13名の操縦者により運航しています。



優れた環境適応性

-20℃から50℃の環境で動作でき
悪天候でも業務を円滑に遂行します



圧倒的カメラ性能

ズームカメラ最大200倍
動画解像度:4K/30fps



優れた機能性

最大飛行時間:41分 運用限界高度:7000m
最大飛行速度:23m/s 風圧抵抗:12m/s



山火事の延焼範囲の把握



川に流されている人の追跡



遭難者の捜索

災害現場で無限の可能性を秘めています!!

北上市・西和賀町を
私たちと一緒に
守りませんか?



時代の進化と共に、消防職員には多種多様な能力が必要不可欠となっております。
北上地区消防組合では、男女問わず、熱意にあふれた皆さんの力を求めています。
北上市・西和賀町を私たちと一緒に守りませんか。

北上地区消防組合について

組合発足日	1974年(昭和49年)4月1日
管轄地域(人口)	北上市(約9万2千人)・西和賀町(約5千人)
消防署	北上消防署・西和賀消防署
分署	和賀分署・大堤分署・村崎野分署
職員数	143人

(令和6年3月現在)

消防の業務について

消防隊

消火活動を主な任務としています。救急車と一緒に救急支援として出動することもあります。

救急隊

急病人やけが人などに応急処置を施しながら病院に搬送することを任務としています。

救助隊

火災建物から逃げ遅れた人や、事故で車内に取り残された人などの人命救助を任務としています。



防災航空隊員

岩手県防災ヘリコプター「ひめかみ」に乗り、上空から消火、救急、救助活動を行います。



指令センター員

119番通報を受信し、出動する車両に無線等で情報を送信します。



各係(事務)

警防係、予防係、庶務係といった係の事務もあります。災害出動に備えながら各係の業務も行います。



現役消防士の声

消防士

高橋 由宇(令和4年度採用)

生まれ育った北上市を守りたいという思いから、当組合を志望しました。現在は、大堤分署で勤務しています。最近では救急車を運転する機関員に認定され、自分自身の成長を感じながら充実した勤務をしています。共に切磋琢磨し合いながら、一緒に北上地区消防組合で働きませんか?



消防士

鈴木 星乃(令和5年度採用)

令和5年9月に岩手県消防学校の初任教育を終了し北上消防署に配属されました。様々な訓練や業務に取り組み、やりがいを感じています。現在、当組合には5人の女性職員が勤務しており、女性も勤務しやすい施設や環境が整っています。女性消防職員が更なる活躍をすることができる場合、私たちと一緒に広げていきませんか?



採用試験・採用後について

- ▶ 受験申込期間 7月上旬から8月中旬まで
- ▶ 第1次試験 9月中旬
- ▶ 第2次試験 11月上旬
- ▶ 最終合格発表 11月中旬

※ 令和6年度の試験日程等は現時点で確定しておりません。上記の日程は近年の実施時期を記載しております。正式な日程が決まり次第、当組合のホームページに掲載します。
※ 新採用職員は4月から9月までの約半年間、岩手県消防学校(矢中町)に入校します。岩手県内の各消防本部に新採用された職員と共に、寮生活をしながら初任教育で消防の基礎を学びます。10月からは北上地区消防組合での勤務が始まり、災害に出動するとともに、各係の業務を行います。